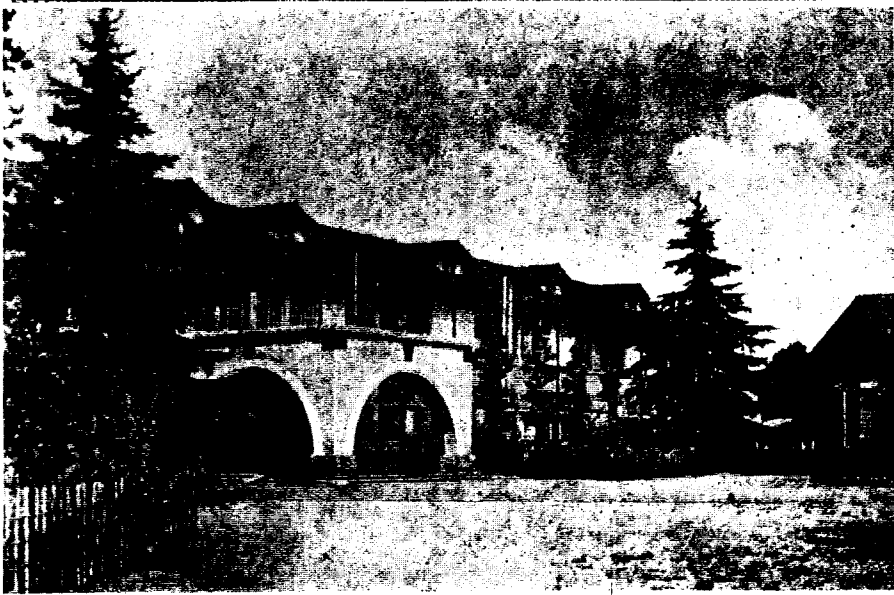


越 高 新 聞

発行所
〒5100 越前市若狭町
出版 編集 印刷
日新新聞株式会社

反省なくして
進歩なし

創立三十五周年を記念して



計画を立て 目標を持つ

（説） 創立三十五周年を記念して、本校の歴史を振り返ると、その歩みは決して平坦ではなかった。戦時体制下の過酷な環境の中で、教育の中断を繰り返しながら、それでも教育の理想を堅持し、今日まで存続し得たのは、教職員と生徒の一致した努力によるものと思われる。

戦後、民主主義の精神が社会に浸透し、教育の重要性が再認識された。本校もこの流れに追随し、教育の質を向上させるべく、様々な改革を断行した。特に、体育の充実と、職業教育の導入が大きな特徴である。

しかし、時代は常に進歩を遂げている。今日の社会は、高度な知識と技術を必要とする。本校は、これに対応するため、最新の設備を整え、教員の研修を徹底し、生徒一人一人の個性を伸ばすことに力を入れている。

未来は不確実であるが、私たちは常に前を向き、変化に対応し続ける覚悟を持っている。創立三十五周年を機に、さらなる飛躍を期すべく、明確な目標を立て、邁進して行く。

創立三十五周年記念式典 体育館兼講堂落成式を終つて

学校長 小関 一郎



本校創立三十五周年記念式典、体育館兼講堂落成式は、十二月十七日（土）午後二時、本校体育館兼講堂にて挙行された。式典は、本校教職員、生徒、保護者、関係者約五百名が参加し、厳粛な雰囲気の中で行われた。

式典は、本校校長小関一郎の祝詞で始まり、続いて、関係者代表の祝詞、本校教職員代表の報告、そして、落成式が行われた。落成式では、本校建築費の寄付者から、代表者が壇上へ上がり、落成式を執り行った。

落成式は、本校建築費の寄付者から、代表者が壇上へ上がり、落成式を執り行った。落成式は、本校建築費の寄付者から、代表者が壇上へ上がり、落成式を執り行った。

落成式は、本校建築費の寄付者から、代表者が壇上へ上がり、落成式を執り行った。落成式は、本校建築費の寄付者から、代表者が壇上へ上がり、落成式を執り行った。

新校舎増築 完成は明春二月の予定

本校の新校舎増築工事は、現在、着工している。新校舎は、従来の校舎よりも、より広大で、設備も充実している。新校舎の完成は、明春二月の予定である。

新校舎の増築は、本校の発展にとって、非常に重要なことである。新校舎の完成により、本校の教育環境は、大きく改善されることとなる。

新校舎の増築は、本校の発展にとって、非常に重要なことである。新校舎の完成により、本校の教育環境は、大きく改善されることとなる。

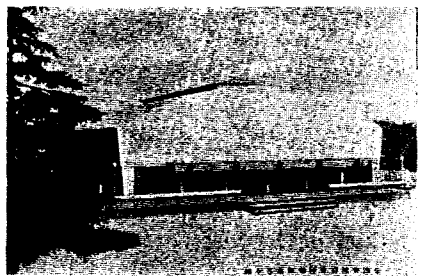
第十期中央委員会を顧みて

加藤 武 男

本校の第十期中央委員会が、十二月十五日（日）午後二時、本校体育館兼講堂にて開催された。委員会は、本校の運営に関する重要な事項を審議し、決定した。

委員会は、本校の運営に関する重要な事項を審議し、決定した。委員会は、本校の運営に関する重要な事項を審議し、決定した。

総工費約二五六〇万円 待望の体育館 兼講堂完成す



本校の待望の体育館兼講堂が、十二月十七日（土）午後二時、落成式を終り、正式に完成した。この施設は、本校の発展にとって、非常に重要な役割を果たすこととなる。

この施設は、本校の発展にとって、非常に重要な役割を果たすこととなる。この施設は、本校の発展にとって、非常に重要な役割を果たすこととなる。

この施設は、本校の発展にとって、非常に重要な役割を果たすこととなる。この施設は、本校の発展にとって、非常に重要な役割を果たすこととなる。

体育館兼講堂使用規定

本校の体育館兼講堂は、本校の教育活動にのみ使用されることとする。使用の際は、以下の規定を厳格に守らなければならない。

1. 本校の教育活動にのみ使用されることとする。

2. 使用の際は、以下の規定を厳格に守らなければならない。

3. 本校の教育活動にのみ使用されることとする。